

2024年

2月号

No.503

日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

やすらぎ

TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

I N D E X

- 令和6年能登半島地震における富山赤十字病院の対応について
- 肝炎医療コーディネーターが皆さまを支援いたします
- 「皆様の声」

令和6年能登半島地震における富山赤十字病院の対応について

令和6年1月1日午後4時10分に発生した能登半島地震に対しては、日本赤十字本社の要請に基づき、富山県支部とも連携のうえ、これまでに次のとおり赤十字社の使命である災害救護活動等にあたっています。

1月2日には、医師1名、看護師3名を含む6名からなる医療救護班を派遣したのを皮切りに、医療救護班として6班、総勢37名の職員を派遣しており、現在は珠洲市における避難所等の巡回診療を行っています。

この他にも、同じく1月2日には、医師1名を含む5名からなる災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣したのをはじめ、1月中旬以降は日赤災害医療コーディネートチームへの医師等3名の職員派遣、市立輪島病院への看護師派遣など継続的な支援活動に努めています。



平岩院長からの激励を受け被災地に向かう救護班



患者搬送



避難所へ巡回診療



DMATによる本部活動
(避難所リストの作成)



肝炎医療コーディネーターが皆さまを支援いたします

肝臓内科部長

時光 善温

ときみつ よしはる

富山赤十字病院ではあらたに6名が富山県肝炎医療コーディネーターに認定されました。医師、看護師だけではなく臨床検査技師、医療ソーシャルワーカー、事務員など多職種で構成されていることが特徴です。さまざまな場面で皆さまと関りを持ち、それぞれの立場での支援ができる体制となっています。支援は、必ずしも肝炎患者さんに限らず全ての肝臓病の患者さんとそのご家族などが対象になります。お近くの病院職員に相談していただければ適当な肝炎医療コーディネーターをご案内いたします。

国が大きな課題として挙げているウイルス性肝炎が、あと一息で撲滅できそうな段階にきています。このように肝炎を取り巻く状況が大きく変容している中、肝炎医療コーディネーターの役割が一層重要になっています。おもな役割として、①肝炎についての正しい知識の普及啓発、②肝炎ウイルス感染者への差別防止の取り組み、③肝炎ウイルス検査を受けておらず感染に気付いていない人への受検勧奨、④肝炎ウイルス陽性者への受診勧奨、④これから治療を行う人の支援、⑤医療費助成制度や肝臓病教室などの紹介、⑥仕事を継続しながらの治療を行う人の支援があります。このように国や県の取り組みを最も当事者に近いところで実行し、親身になって支援します。

さらに近年は非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)のようにメタボリックシンドロームに関連した肝臓病が増えています。日本の成人男性ではNAFLDの有病率が30~40%に達するとの報告もあります。なお女性は男性の2分の1程度の有病率です。無症状で進行する肝臓病に早く気づき手を打たなければなりません。一部のNAFLDや慢性肝炎の患者さんでは10年以上かけて病状が進行することがあります。最終的には肝硬変となり、肝不全や肝臓がんが合併することもあります。一方、ウイルス性肝炎の治療が格段に進歩したことで肝臓がんの患者さんは少しずつ減っています。肝臓病治療の目標は将来の健康を維持することです。人生100年時代とは言え健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間、すなわち健康寿命は男性で約72歳、女性で約75歳です。今、皆さまが肝臓病について考えることがご自身の健康寿命を延ばし、老いてもウェルビーイングを実現することに繋がります。元気なうちにしっかり検査をうけ、肝臓病が隠れていないかチェックしてください。

肝炎医療コーディネーターは皆さまの身近にいて肝臓病について相談に乗ります。検査や治療、医療費の助成制度をご案内します。多くの人に肝臓病を正しく知っていただけるよう活動します。皆さまがご自身の肝臓を大切にしてくださいと、健康で過ごせることを願っています。どうぞよろしくお願い致します。



理念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基本方針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全で高度な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利
- 6 子ども達が分かりやすく心のこもった医療を受ける権利

患者さんの責務

医療は患者と医療者との協同作業です。より適正な医療提供のため、以下の責務について十分ご理解をいただき、ご協力をお願いします

- 1 ご自身の健康状態に関する正確な情報をお伝えください
- 2 医療者と力を合せて診療に参加し、最大限の治療効果を発揮できるようにご協力ください
- 3 病院のルールに従い、院内での迷惑行為は慎んでください
- 4 受けた医療に対し、診療費をお支払ください

皆さま の声

このコーナーでは、『皆さまの声』（ご意見箱）等にお寄せいただいたご意見・ご要望に対する当院の対応、お礼の投書についてお知らせします。（令和5年9月1日～令和5年10月31日回収分より抜粋）

投書箱は正面玄関・やすらぎホール・各病棟に設置しております。

ご意見・ご要望

◆一つ気になることがあります。毎晩10:50～11時頃、帰宅される人たちが、業務用エレベーターが来るまで、大きな声で「お疲れー」などざわざわ話している状態です。改善していただきたいです。

「病院からの回答」

◇この度は、夜間就寝中の時間にも関わらず、職員の会話や物音により不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。部署の看護師、看護補助者でご指摘いただいたことを共有し、十分注意するよう話し合いを致しました。今後このようなことがないよう努めてまいります。ご意見ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆・外来表示板、1人の番号しか表示されておらずどのくらい先なのか知りたいことがわかりません。
・外来の案内の表示盤が見にくい。向きと角度と位置を変えて欲しい。
・中待ち合いの掲示板が光に反射してとても見えづらいです。もっと台数を増やしてどの待ち合いのイスからでも見えやすくしてほしい。

「病院からの回答」

◇案内表示盤について、診察中の他に3名分の番号を表示できる設定となっておりますが、まだ操作に不慣れな面もあり医師によっては1名の表示となっている場合がありますので、指導を進めてまいります。設置場所につきましては、窓からの景観を損なわない様に設置いたしました。設置台数を増やすことは難しいため、少しでも見えやすくなるよう可能な範囲での角度の調整を検討いたします。

お礼の投書

●医師・看護師の方々には、病状説明の時から、わからない事だらけで不安になる家族にそっと寄り添っていただけてとても感謝しています。患者家族と同じ目線に対応してもらえました。家族が決断に困る時も我が事として考えアドバイスいただけたのがとても助かりました。ありがとうございました。

お礼の投書

●先生始め、看護スタッフの方にいつも気持ちよく親切に対応していただき、地域においても信用なる病院である事を感じました。ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆床頭台の冷蔵庫 1回の通電時間は24時間となっているが、18時間位で通電が止まるのが、2回ありました。機会があれば点検されてはどうでしょうか？

「病院からの回答」

◇床頭台に関して、不具合があるとのことご指摘をいただいた際には、その都度点検するなどの対応をしております。今回、後日の点検では異常は発見できませんでした。即時対応いたしますので、何かお気づきのことがありましたら遠慮なくスタッフにお申し出ください。

ご意見・ご要望

◆予約時間に受付したにもかかわらず、5時間以上待たされ、文書課や調剤薬局にも間に合わず、高齢の本人も疲労が激しいです。付添う家族も、送迎の時間が大幅に長くなり、翌日も休みをとって再度、日赤へ出向いたり、薬局へ行かなければならない状態です。改善していただきたくお願いいたします。

「病院からの回答」

◇外来の待ち時間が長く不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。込み合っている診察室では、予約されている患者さんが多いことなどが待ち時間が長くなっている原因の一つと考えています。医師とも検討し、予約人数の見直しや、病状が安定した方を地域のかかりつけ医に紹介するなど、病院として待ち時間改善に向けて今後も努めてまいります。

お礼の投書

●90日以上絶食や90日以上のおふろなし生活、すごくつらかったけどスタッフの皆様のはげましと笑顔のおかげでのり切ることができました。廊下で会うとそっと手をふって下さったり、笑って声かけて下さったり忙しいのに本当にありがたかったです。長い長い間ありがとうございました。

お礼の投書

●最近の給食のおいしさにびっくりしています。以前のもの比べるとお魚など本当においしいです。

これからも患者様にご満足いただける病院づくりに、職員一同努めてまいります。



2月・3月健康教室等のお知らせ 患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください。【お問い合わせ】電話(076)433-2222 医療社会事業課(内線 2322)

名称	内容	実施日 祝祭日除く	時間	場所	担当	申込窓口
やすらぎの会	ミニレクチャー がんにもつわるお薬について知ろう ～薬剤編～ (講師:薬剤師) ミニレクチャー 緩和ケアと療養を支える仕組みを知ろう (講師:愛宕・安野屋地域包括支援センター)	2月21日(水) 3月13日(水)	14:00～14:30 交流会14:30～15:00 14:00～14:30 交流会14:30～15:00	3階 講義室	がん相談スタッフ	申込不要
ライラックの会	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	当面の間中止				
クロスサロンとやま	ピアサポーターによるサロン	2月・3月開催なし				
がん相談支援センターでは、がんに関する相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。						
糖尿病指導コース (要申込)	運動の話と実技(実技は主治医の許可を受けてください) 検査の話 食事の話 病気の話 薬の話 生活の注意点 (第2水曜日のみ「口腔衛生生について」)	2月13日(火)・27日(火) 3月12日(火)・26日(火) 2月14日(水)・28日(水) 3月13日(水)・27日(水)	14:00～16:00	3階 討議室	理学療法士 検査技師 管理栄養士 医師 薬剤師 看護師	外来通院の方は 内科外来 入院中の方は 病棟看護師
腎臓病教室 (要申込)	昼食会 病気の話 食事の話 生活の注意点	当面の間中止			医師 管理栄養士 看護師	主治医
禁煙教室	ミニレクチャー 第六回 タバコは全身病 ～禁煙・卒煙:なんでも相談会～ 「禁煙治療薬」ってどんなもの? ～疑問にお答えします～	2月16日(金) 3月15日(金)	15:00～15:30	健診センター	医師 薬剤師	申込不要
安産教室 (要申込)	1コース 妊娠されたママへ～自分の身体と赤ちゃんをイメージしよう～ 2コース 自分の食生活と向き合ってみよう妊娠中の身体と生活 3コース 赤ちゃんと学ぼう！お産 4コース みんなで学ぼう！母乳育児！	2月2日(金) 3月1日(金) 2月9日(金)・16日(金) 3月8日(金)・15日(金)・22日(金)	13:00～14:00 14:30～15:30 13:00～14:00	正面玄関 多目的室 3月22日(金) zoom開催	助産師 管理栄養士 歯科衛生士	産婦人科 外来
赤ちゃんのここにご飯 (要申込)	食育教室 病院ホームページの『診療科・部門のご案内』>『栄養管理』栄養指導の提供、チーム医療への参加をご覧ください。	2月8日(木) 3月14日(木)	10:00～11:00	正面玄関 多目的室	管理栄養士	栄養課
のびのびサークル	母乳育児期間中の母子のつどい 病院ホームページの『ご利用の皆さまへ』>『お産される方へ』>『【退院後】のびのびサークル』をご覧ください。	2月28日(水) 3月27日(水)	10:00～11:30 (zoomへの入室は 9:40～)	正面玄関 多目的室 zoom開催	自助サークル	病院ホーム ページ
赤十字 救急法基礎講習 救急員養成講習 (要申込)	一次救命処置(心肺蘇生・AED) / 搬送および救護 / 急病の手当/けがの手当(止血法・包帯法・固定法)	基礎講習: 2月19日(月). 3月20日(水・祝) 養成講習: 2月21日(水)・22日(木)・ 3月23日(土)・24日(日)	9:00～16:30	日本赤十字社富山県支部	救急法 講習指導員	日本赤十字社 富山県支部 451-7878